

卒業研究	履修学年:2年	必修	通年
到達目標	データ収集にはじまり、分析、解析、実験データのまとめ及びプレゼンテーションを行うことができる。また、他人と協力して目標に到達する重要性を理解することができる。		

内容 項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
実験背景	先行研究を挙げ、根拠を示しながら実験背景について説明ができる。	根拠を示しながら実験背景について説明ができる。	根拠は乏しいが、実験背景について概ね説明ができる。	実験背景が実験の目的と関連性がなく、意味を成していない。
実験目的	実験背景を基に、目的に沿った仮説を説明できる。	実験の目的について、意義を含めた説明ができる。	実験の目的について、概ね説明ができる。	実験目的としてきちんと説明することができない。
実験方法	実験方法や細かな注意点を含めた手順などのすべての段階が実験ノートに記載され、誰が見ても実験可能なレベルのものである。	実験方法や手順などのすべての段階が実験ノートに記載され、再度実験可能なレベルのものである。	実験方法についてのほとんどの段階が実験ノートに記載されている。	実験方法や手順のうち、多くの段階が実験ノートに記載されていない。
実験結果	実験ノートにデータが図表やグラフ等で整理して提示され、理解や解釈が容易になるように工夫されている。	実験ノートにデータが図表やグラフ等で整理して提示されている。	実験ノートにデータがそのまま記載されている。その理解や解釈について改善の余地がある。	実験ノートにデータの提示はメモ程度でしかなく、非常に不明確である。
実験の評価	実験ノートに実験結果は根拠を示しながら細かい点まで客観的に分析・解釈されている。	実験ノートに実験結果について客観的に分析・解釈されている。	実験ノートに実験結果は概ね分析・解釈されているが、改善の余地がある。	実験ノートに単なる感想を記述している。
プレゼンテーション資料の内容	パワーポイントは導入、展開、結論を備え、よくまとまっている。また、適切でわかりやすい視覚効果を十分に考慮した資料を含んでいる。	パワーポイントは導入、展開、結論を備え、よくまとまっている。	パワーポイントは見やすさ、わかりやすさへの配慮が不足しているが、ある程度の内容が保持された資料となっている。	パワーポイントは見やすさ、わかりやすさへの配慮が全くできていない資料となっている。
発表の姿勢	発表内容を押さえ、説得力のある表現と明瞭で、十分な声量の話し方であり、質問に対して的確に回答できる。	発表内容を押さえ、説得力のある表現と明瞭で、十分な声量の話し方であるが、質問への回答に不足がある。	発表内容は理解できるが、表現や声量を含めた話し方、質問への回答で不足がある。	発表内容が十分頭に入っておらず、表現や話し方、質問への対処などができていない。